

多様性求める国民

シンガポール経営大学
ユージン・タン准教授



政治は変化するのか。答えはもちろんイエスだ。力強い政治的リーダーシップに執着したリー氏の統治モデルは、現実の変化を考慮に入れながら、常に微調整していかねばならない。シンガポールの政治は近年、はるかに多様になり、

与党・人民行動党(PAP)の単一党支配は衰退していくだろう。国民はPAPが説く「良い統治」の主張を受け入れてきたが、リー氏の強権的な手法は独立後に育った世代には歓迎されない。「良い統治」とは、健全な抑制と均衡、政党間の競争、活気ある野党の存在を通して高められるものだ。政党間の競争や多様性を求める欲求は高まっている。